

Ⅱ 調査結果の概要

1. 観光入込客延べ数

平成24年の島根県の観光入込客延べ数は29,181千人であり、前年と比べると、1,693千人(+6.2%)増加した。

〈観光入込客延べ数〉

区 分	総 数	内 訳	
		県内客	県外客
観光入込客延べ数(千人地点)	29,181	7,596	21,585
構成比(%)	100.0	26.03	73.97
対前年増減(%)	+6.16	+40.17	-2.26

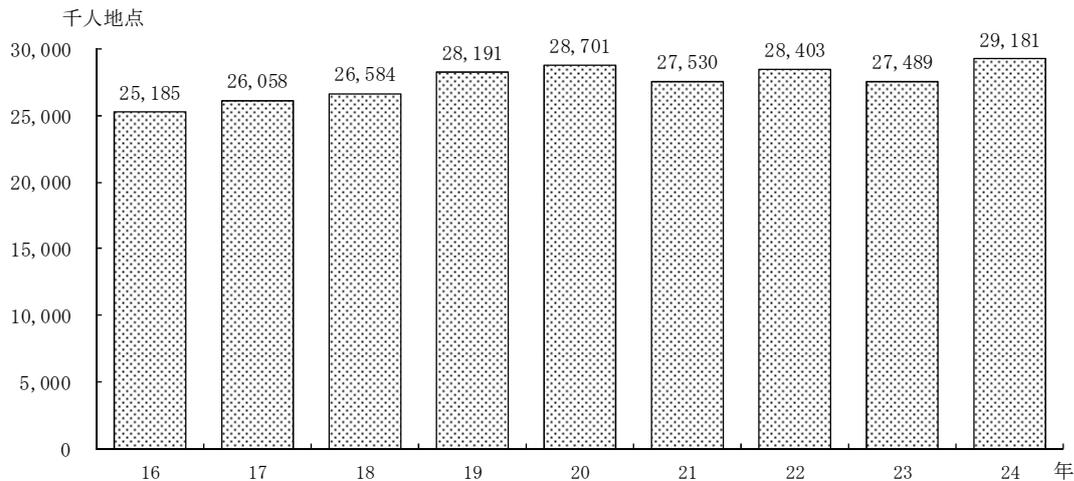
注) 県内客・県外客の別は、観光入込客延べ数に観光地点アンケート調査で得られた県内客・県外客の割合を乗じて算出した。

注) 本調査結果での率の合計については、端数処理のため100%にならない場合がある。

【主な変動要因】

- ①冬期の大雪及び東日本大震災の影響により減少した前年からの回復。
- ②神話博しまね開催による増(7月～11月)。
- ③山陰ディステーションキャンペーン開催による増(10月～12月)。

〈観光入込客延べ数の推移〉



2. 観光入込客実人数

観光入込客延べ数をもとに観光地点アンケート調査等で得られた数値により推計した観光入込客実人数は、12,696千人であった。

〈観光入込客実人数〉

区 分	総 数	宿 泊 客		日 帰 り 客	
		県内客	県外客	県内客	県外客
観光入込客実人数(千人回)	12,696	108	2,527	4,586	5,475
構成比(%)	100.0	0.9	19.9	36.1	43.1

3. 観光消費額及び経済波及効果

観光地点アンケート調査で得られた、観光消費額単価に観光入込客実人数を乗じて推計した平成24年の全県の観光消費額は、約1,266億円であり、前年に比べると約78億円(+6.6%)増加した。

この観光消費額が県内に及ぼす経済波及効果(直接効果、一次波及効果、二次波及効果の和)は、1.21倍の約1,532億円と推計され、前年に比べ約109億円(+7.7%)増加した。

注) 経済波及効果は、平成20年島根県産業連関表を用いて推計。

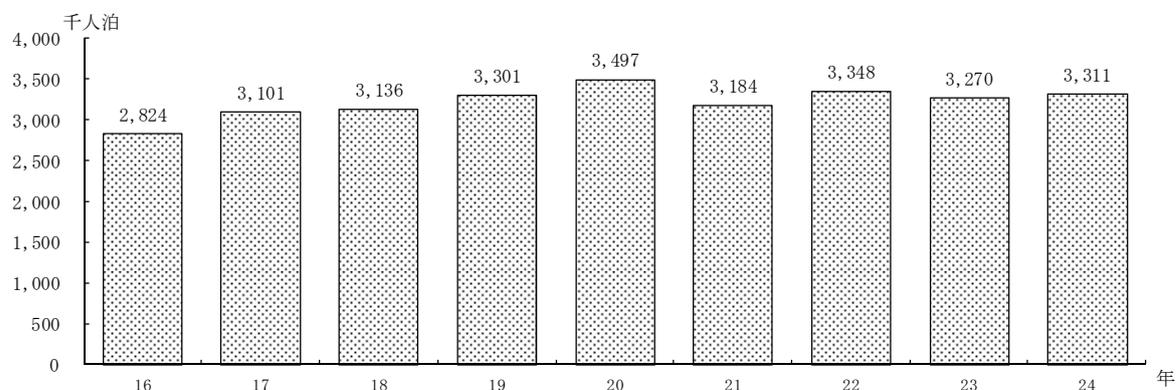
○1人当たり消費額

区 分	観光消費額単価		観光消費額 (百万円)
	(円)	対前年増減	
県内客・宿泊	17,282	+12.5%	1,870
県外客・宿泊	25,939	+1.5%	65,543
県内客・日帰り	3,661	+10.6%	16,790
県外客・日帰り	7,736	+3.5%	42,355
計	—	—	126,558

4. 県内宿泊客延べ数

平成24年の県内宿泊施設への宿泊客延べ数は、3,311千人であり、前年と比べると、41千人(+1.3%)増加した。

〈宿泊客延べ数の推移〉



区 分	ホテル 旅館	民 宿 ペンション	社会教育 施設	公共の 宿泊施設	キャンプ場	合 計
宿泊延べ数(人泊)	2,852,154	102,737	69,320	191,966	95,308	3,311,485
構成比(%)	86.1%	3.1%	2.1%	5.8%	2.9%	100.0%
対前年増減(%)	1.9%	-1.3%	4.0%	-0.2%	-11.9%	1.3%

5. 外国人宿泊客延べ数

平成24年の島根県の外国人宿泊客延べ数は、24,619人で、前年と比べ、4,054人（+19.7%）の増となった。平成23年の東日本大震災や原発事故の風評被害が緩和したことから訪問者数が増加した。特に、台湾は前年と比べ4,202人（174.5%）増加した。

〈訪日外国人宿泊客延べ数〉

国 籍	宿泊客延べ数		対前年増減 (%)
	(人泊)	構成比 (%)	
台 湾	6,610	26.8%	+174.5%
韓 国	5,329	21.6%	+20.9%
ヨ ー ロ ッ パ	4,538	18.4%	-2.3%
米 国	2,881	11.7%	+0.3%
中 国	2,401	9.8%	+27.6%
その他・アジア	790	3.2%	+1.7%
オセアニア	490	2.0%	+45.4%
香 港	200	0.8%	-20.0%
カ ナ ダ	167	0.7%	+14.4%
中 南 米	108	0.4%	-79.7%
ア フ リ カ	16	0.1%	-80.0%
そ の 他	1,089	4.4%	-51.2%
合 計	24,619	100.0%	+19.7%

6. 観光入込客延べ数の分析

(1) 主要観光地観光入込客延べ数

市町村及び観光地・観光施設ごとの観光入込客延べ数の上位10箇所は、以下のとおりである。

〈市町村〉

市町村名	入込延べ数 (人地点)	対前年増減 (%)
出雲市	10,435,869	+20.1%
松江市	8,432,239	+0.5%
浜田市	1,961,849	0.0%
大田市	1,434,135	-4.2%
安来市	1,307,029	-4.7%
津和野町	1,214,123	-1.2%
益田市	974,438	+3.7%
雲南市	966,013	+1.6%
奥出雲町	780,364	0.0%
邑南町	446,302	+1.3%

〈観光地・観光施設〉

観光地・観光施設名	入込延べ数 (人地点)	対前年増減 (%)
出雲大社（出雲市）	3,483,000	+40.5%
日御碕（出雲市）	1,000,000	0.0%
島根ワイナリー（出雲市）	843,943	+6.5%
神話博しまね（出雲市）	729,262	-
石見海浜公園（浜田市）	634,923	+2.9%
三瓶山（大田市）	587,800	-4.1%
玉造温泉（松江市）	586,268	-5.2%
太鼓谷稲荷神社（津和野町）	562,601	+0.3%
道の駅キララ多伎（出雲市）	522,961	-5.6%
一畑薬師（出雲市）	454,000	-6.6%

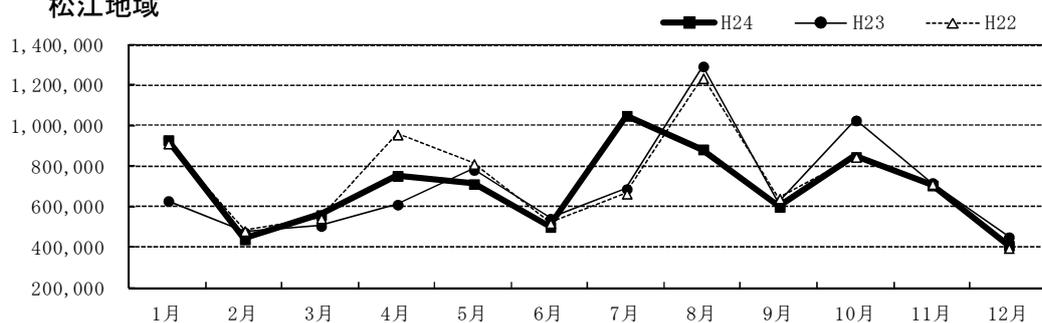
(2) 地域別観光入込客延べ数

地域別に観光入込客延べ数を比べると、最も多いのが出雲地域の 10,436 千人 (+20.1%)、次いで松江地域で 8,432 千人 (+0.5%)、益田地域の 2,444 千人 (+0.7%)、浜田地域の 2,269 千人 (+0.7%)、雲南地域の 2,091 千人 (-0.4%)、大田地域の 1,998 千人 (-2.6%)、安来地域の 1,307 千人 (-4.7%)、隠岐地域の 205 千人 (-1.2%) の順となった。

前年と比較して、出雲地域は神話博しまねの開催により大幅に増加した外、松江地域、浜田地域、益田地域は微増となった。対して、安来地域、雲南地域、大田地域、隠岐地域は減少した。

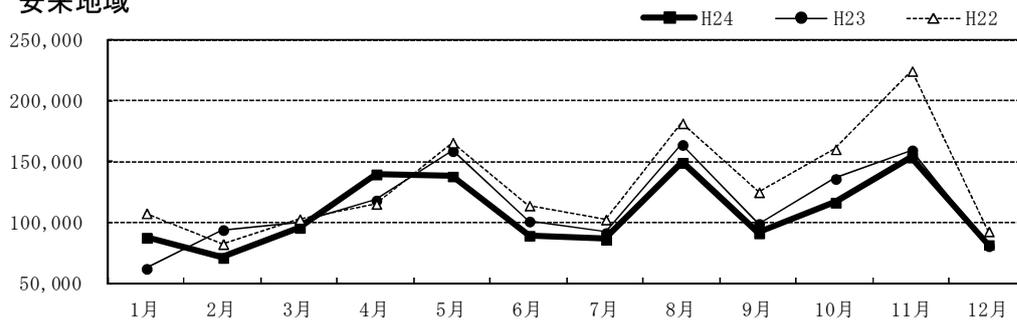
<地域別月別観光入込客延べ数>

松江地域



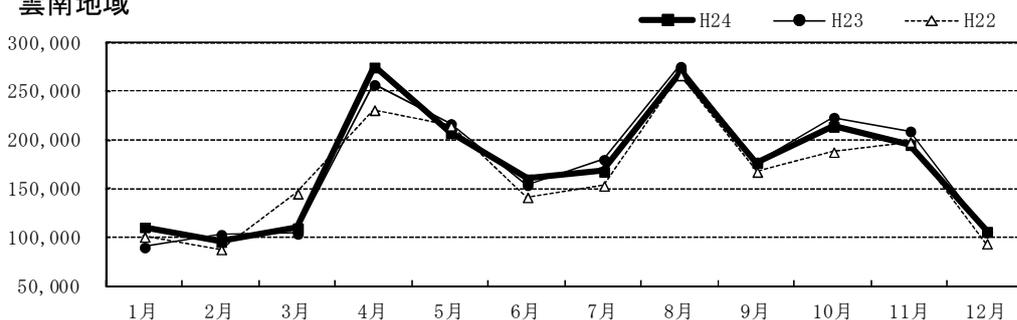
年	入り込み数
H24	8,432,239
H23	8,386,621
H22	8,764,546
対比	増減
H24対H23	+0.54%
H24対H22	-3.79%

安来地域



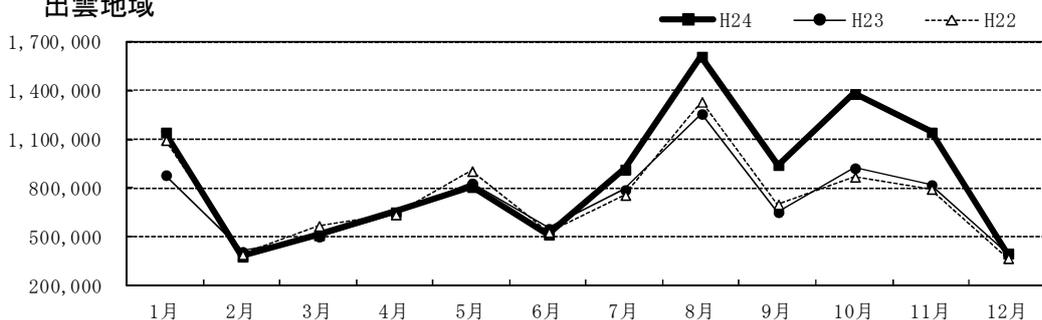
年	入り込み数
H24	1,307,029
H23	1,371,098
H22	1,581,237
対比	増減
H24対H23	-4.67%
H24対H22	-17.34%

雲南地域



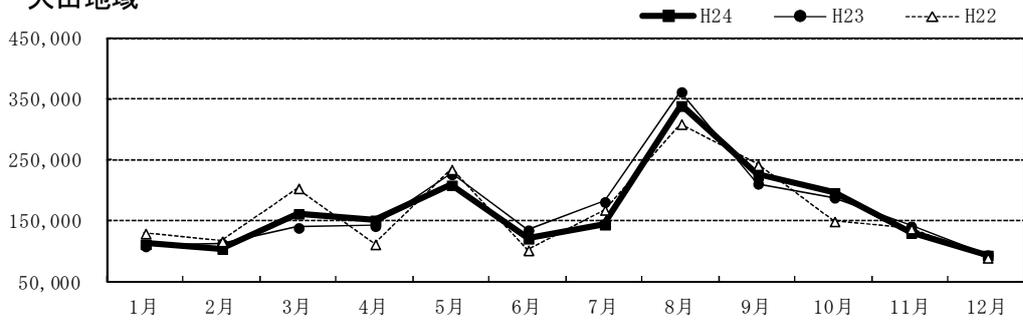
年	入り込み数
H24	2,091,213
H23	2,099,648
H22	1,992,173
対比	増減
H24対H23	-0.40%
H24対H22	+4.97%

出雲地域



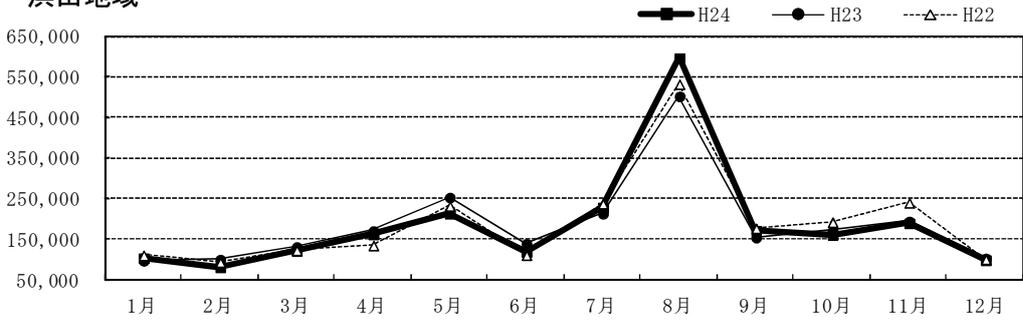
年	入り込み数
H24	10,435,869
H23	8,692,786
H22	8,993,744
対比	増減
H24対H23	+20.05%
H24対H22	+16.03%

大田地域



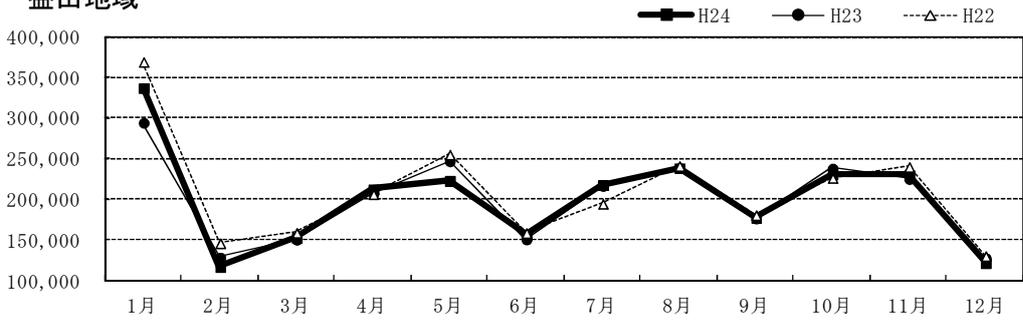
年	入り込み数
H24	1,997,669
H23	2,051,649
H22	2,003,314
対比	増減
H24対H23	-2.63%
H24対H22	-0.28%

浜田地域



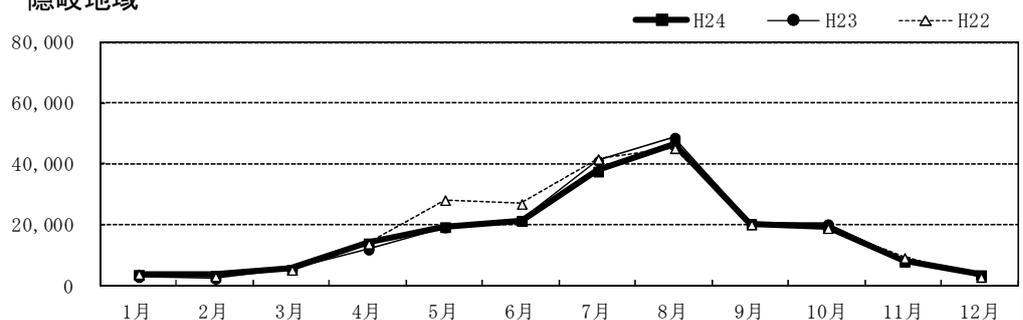
年	入り込み数
H24	2,269,111
H23	2,252,544
H22	2,308,549
対比	増減
H24対H23	+0.74%
H24対H22	-1.71%

益田地域



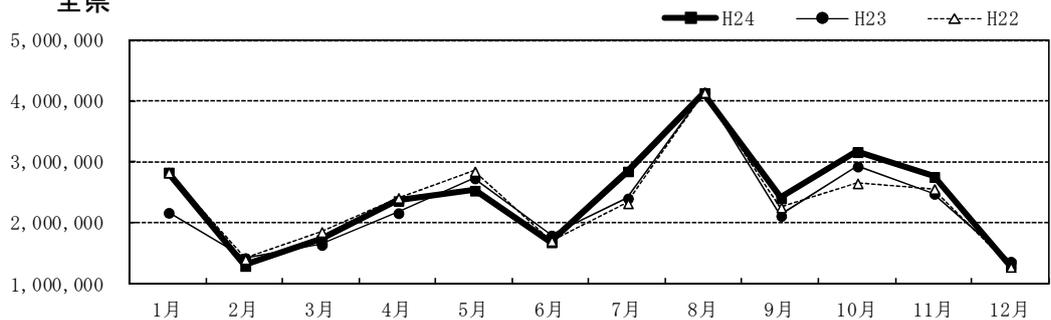
年	入り込み数
H24	2,443,702
H23	2,427,224
H22	2,518,374
対比	増減
H24対H23	+0.68%
H24対H22	-3.73%

隠岐地域



年	入り込み数
H24	204,525
H23	206,941
H22	221,204
対比	増減
H24対H23	-1.17%
H24対H22	-7.54%

全県



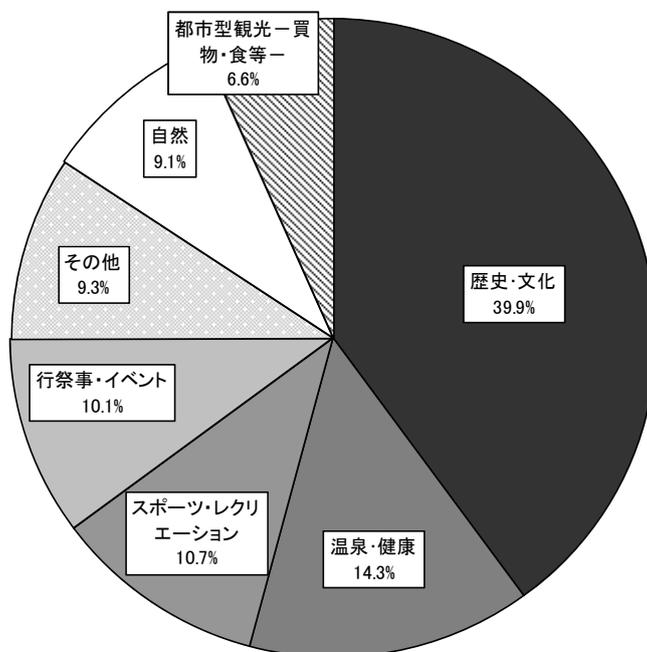
年	入り込み数
H24	29,181,357
H23	27,488,511
H22	28,403,194
対比	増減
H24対H23	+6.16%
H24対H22	+2.74%

(3) 行動目的別観光入込客延べ数

観光客の行動目的別（中分類）に入込延べ数を集計の上比較すると、最も多いのが「歴史・文化」で全体の約40%、次いで「温泉・健康」の14.3%、「スポーツ・レクリエーション」の10.7%となっており、この上位3項目で全体の7割弱を占める。

また、神話博しまねの開催により「行祭事・イベント」が約40%増加している。

《行動目的別割合》



行動目的 (中分類)	入込延べ数 (人地点)	対前年増減 (%)
歴史・文化	11,650,972	+10.1%
温泉・健康	4,160,013	-2.9%
スポーツ・レクリエーション	3,119,506	+1.6%
行祭事・イベント	2,942,971	+39.6%
その他	2,725,761	-2.7%
自然	2,645,137	-1.1%
都市型観光－買物・食等－	1,936,997	-1.5%

《行動目的別（小分類）入込数の上位5区分（その他除く）》

中分類	小分類	入込延べ数 (人地点)	対前年増減 (%)
歴史・文化	神社・仏閣	6,747,876	+22.8%
温泉・健康	温泉	4,160,013	-2.9%
歴史・文化	博物館	1,841,108	+4.8%
行祭事・イベント	行・祭事	1,709,220	+138.7%
自然	海岸	1,425,367	-0.2%

7. 観光客の動向（観光地点アンケートによる）

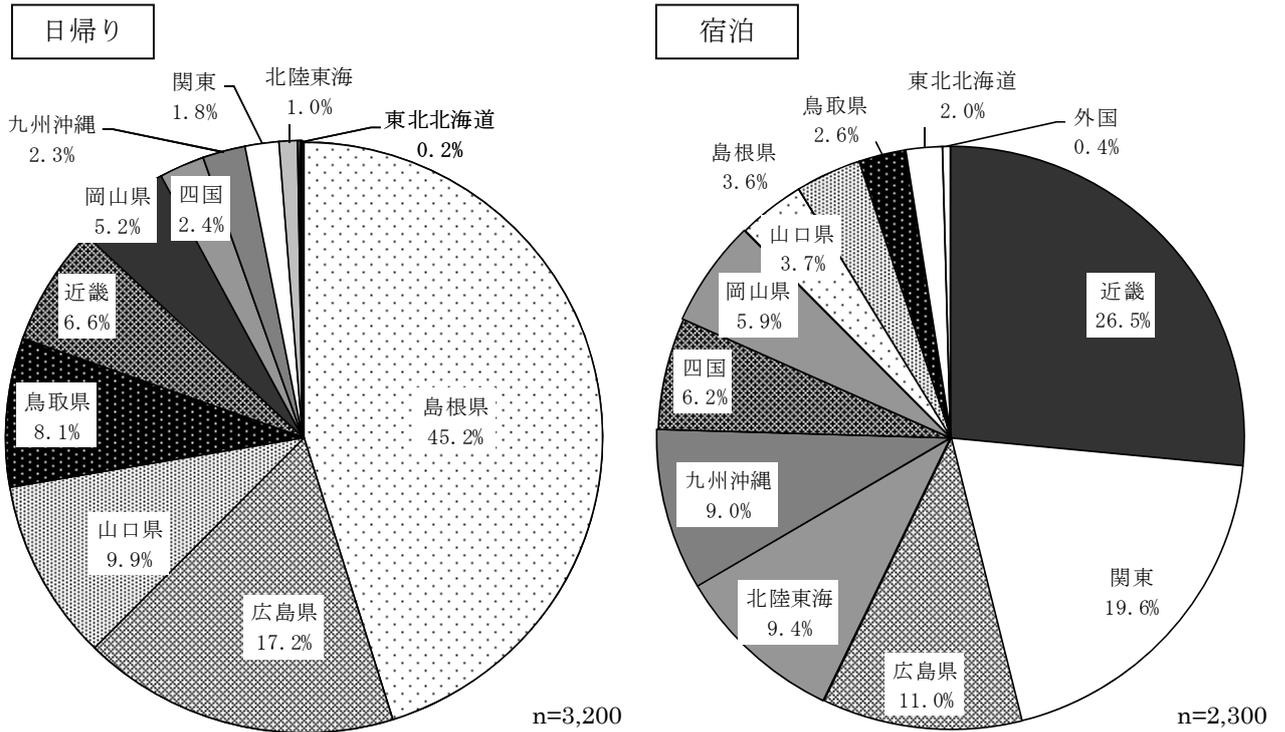
平成 24 年観光地点アンケート調査によって得られたデータをもとに、観光客の動向を分析する。

(1) 発地（住所）

ア. 日帰り・宿泊別入り込み割合

日帰りでは、島根県が最も多く 45.2%、次いで広島県 17.2%で、中国 5 県からが全体の約 9 割(85.6%)を占める。

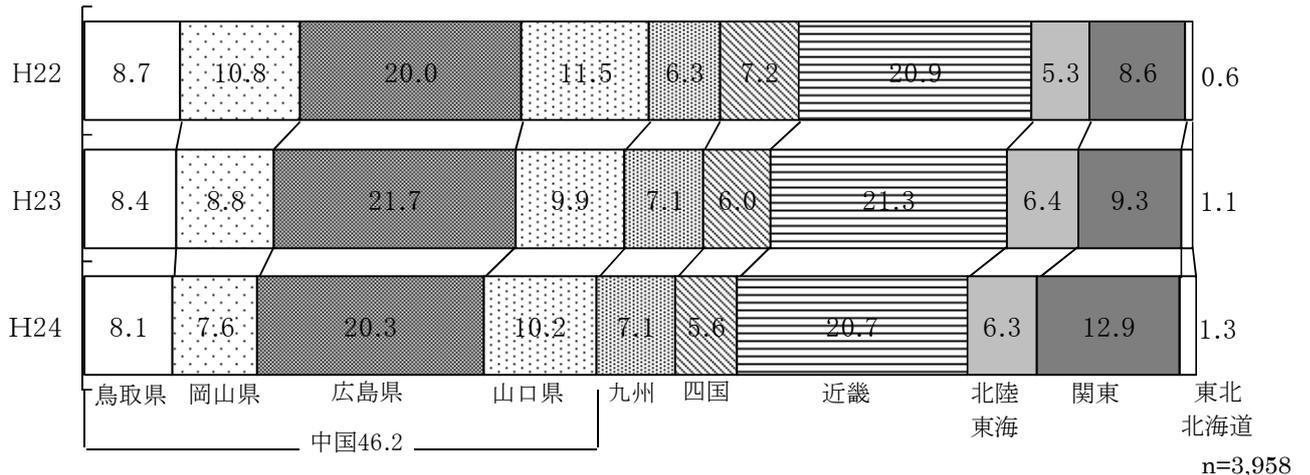
宿泊では、近畿が最も多く 26.5%、次いで関東 19.6%、近畿・関東地域を合わせると約 5 割(46.1%)を占め、中国 5 県の約 3 割(26.8%)を上回っている。



イ. 県外観光入込客割合

県外客の発地別入り込み割合は、近畿からが最も多く 20.7%、次いで広島県 20.3%、関東 12.9%の順となっている。中国 4 県を合わせると全体の約 4 割(46.2%)を占めている。過去 2 年間と比べると関東が増加傾向にあり、昨年と比較すると約 1.4 倍増加している。

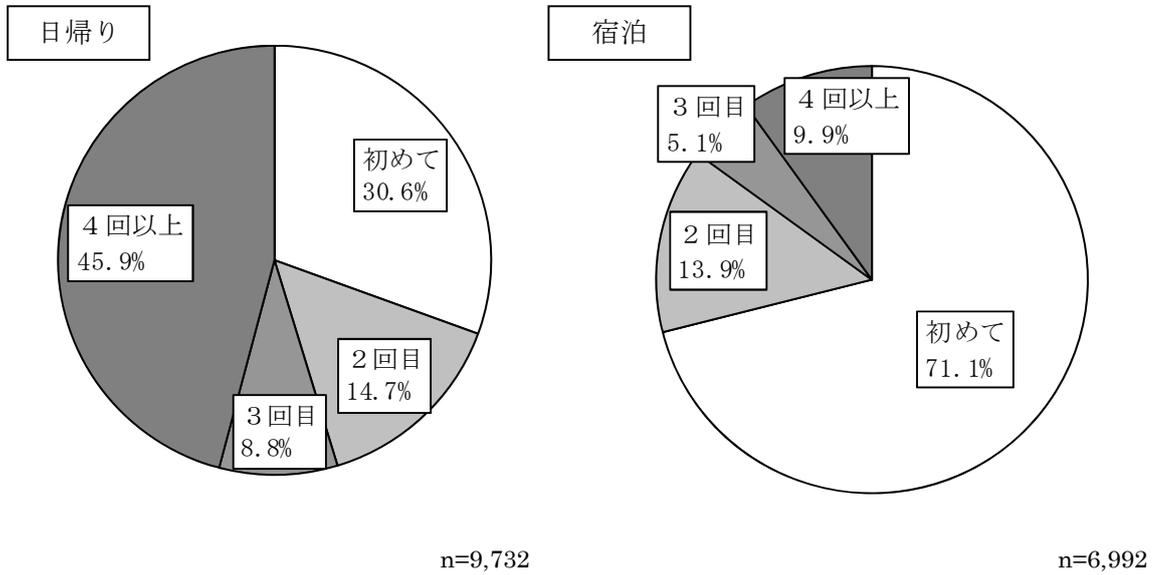
〈県外観光客発地別入込客割合の推移 (%)〉



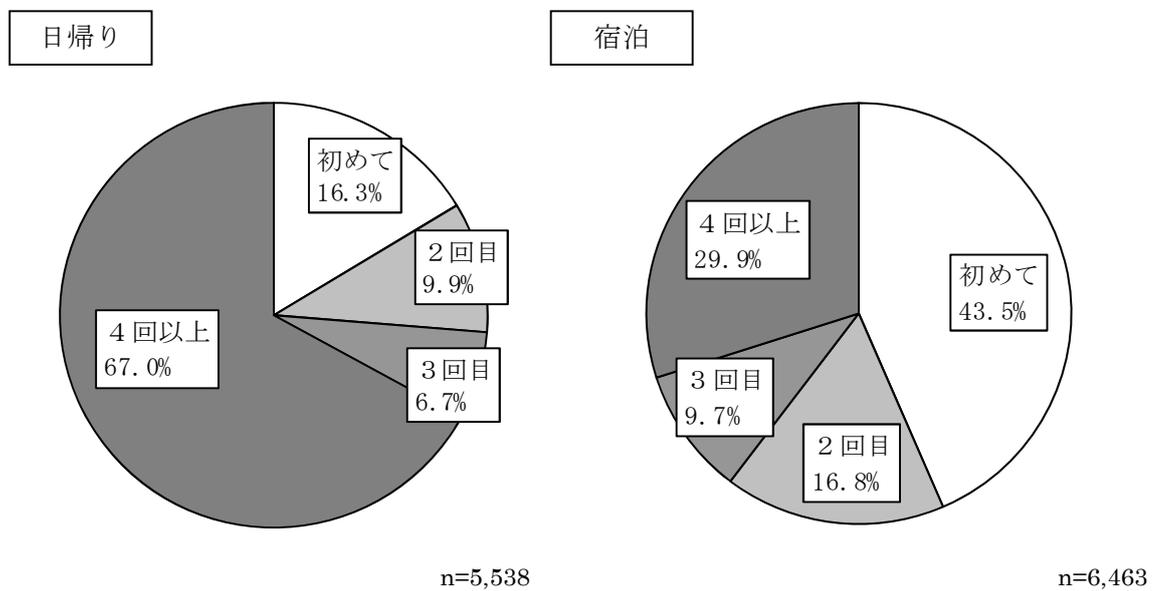
(2) 旅行回数

観光施設への訪問回数は、日帰りの場合は「4回以上」が最も多く、宿泊の場合は「初めて」が多い。島根県への訪問回数も同様の傾向であるが、「初めて」の割合は大きく下がる。

①観光施設の訪問回数

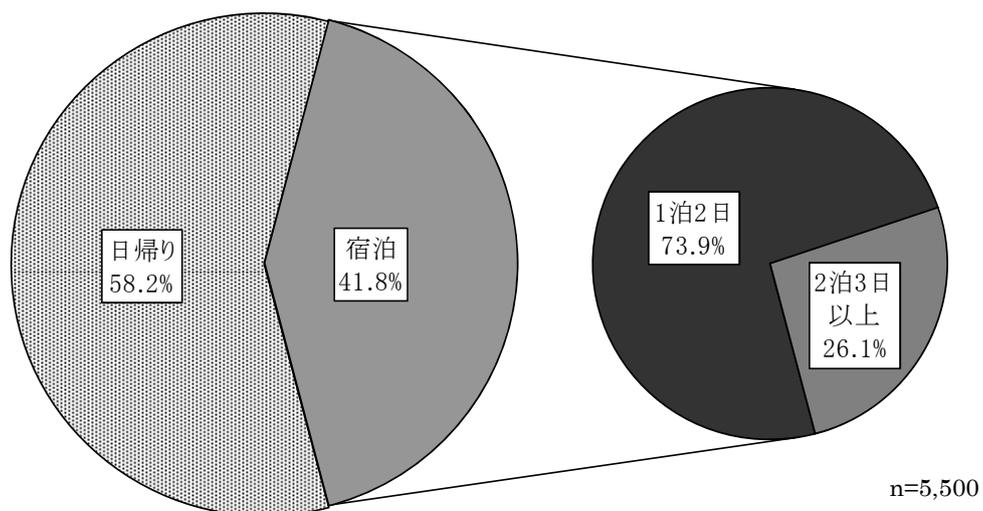


②島根県の訪問回数（なお、この項目は県外客のみに島根県への訪問回数を質問している。）



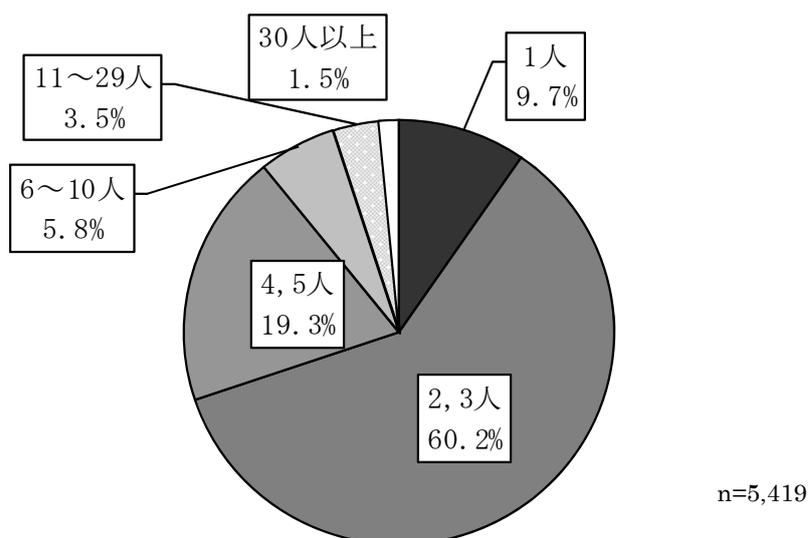
(3) 旅行日程

「日帰り」が58.2%、「宿泊」が41.8%と、日帰り客の割合が高くなっている。宿泊客のうち、約7割(73.9%)が1泊2日となる。



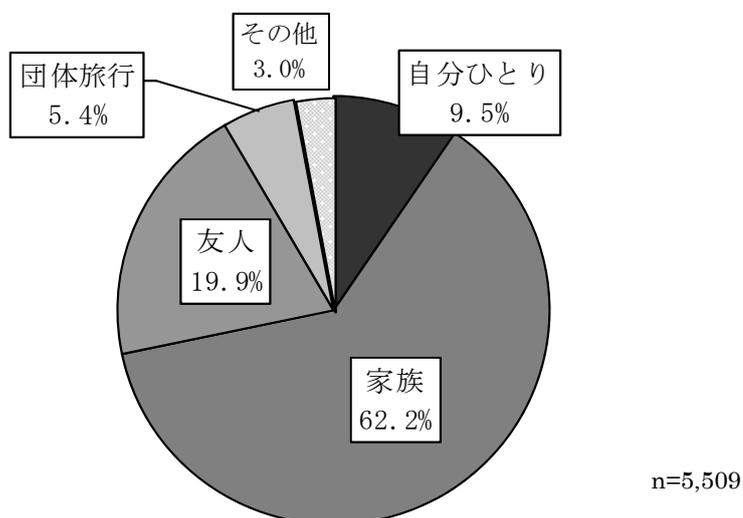
(4) 同行人数

「2、3人」が最も多く全体の約6割(60.2%)を占めている。



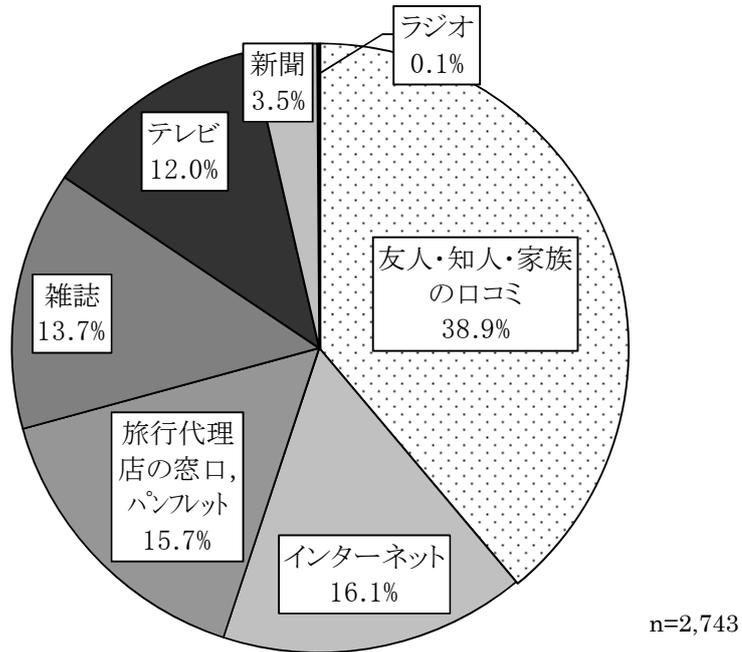
(5) メンバー構成

「家族」が最も多く62.2%、次いで「友人」が19.9%であった。



(6) 旅行地を決定する際にきっかけとなった情報源

旅行地の情報を知っていた（その他を回答）を除くと、「友人・知人・家族の口コミ」が最も多く約4割(38.9%)を占めている。次いで「インターネット」(16.1%)、「旅行代理店の窓口・パンフレット」(15.7%)、「雑誌」(13.7%)と続く。

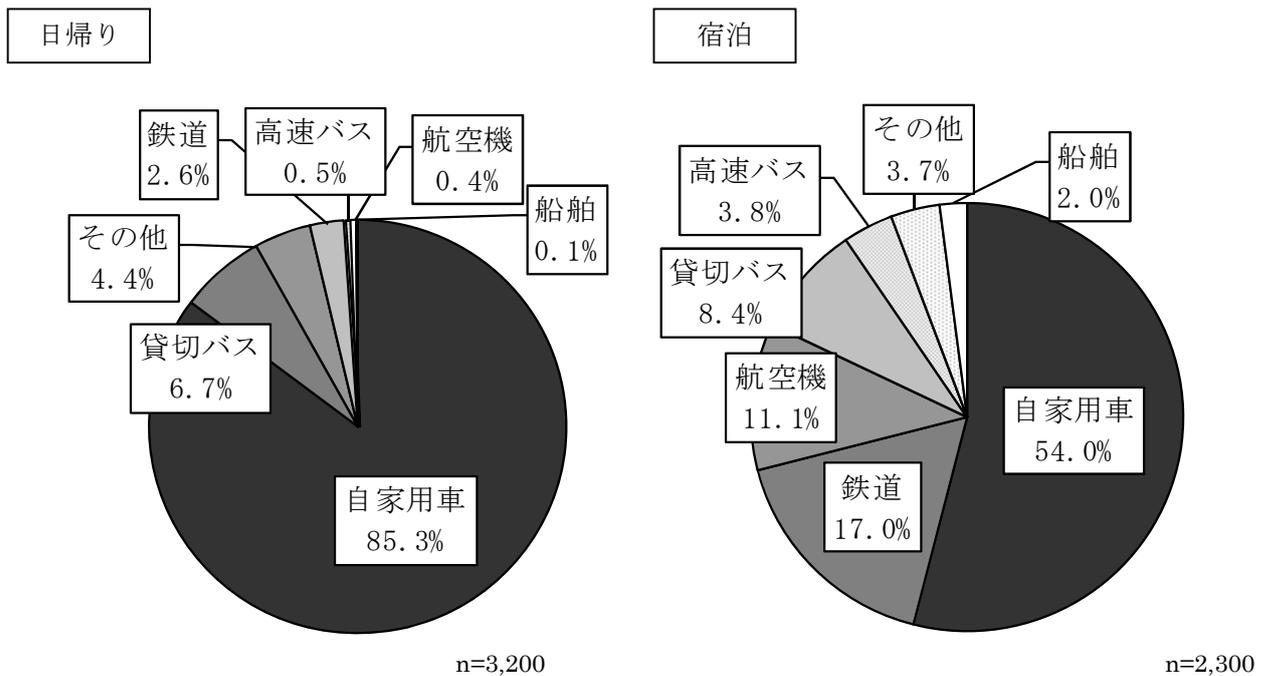


(7) 利用交通機関

ア. 日帰り・宿泊別入り込み割合

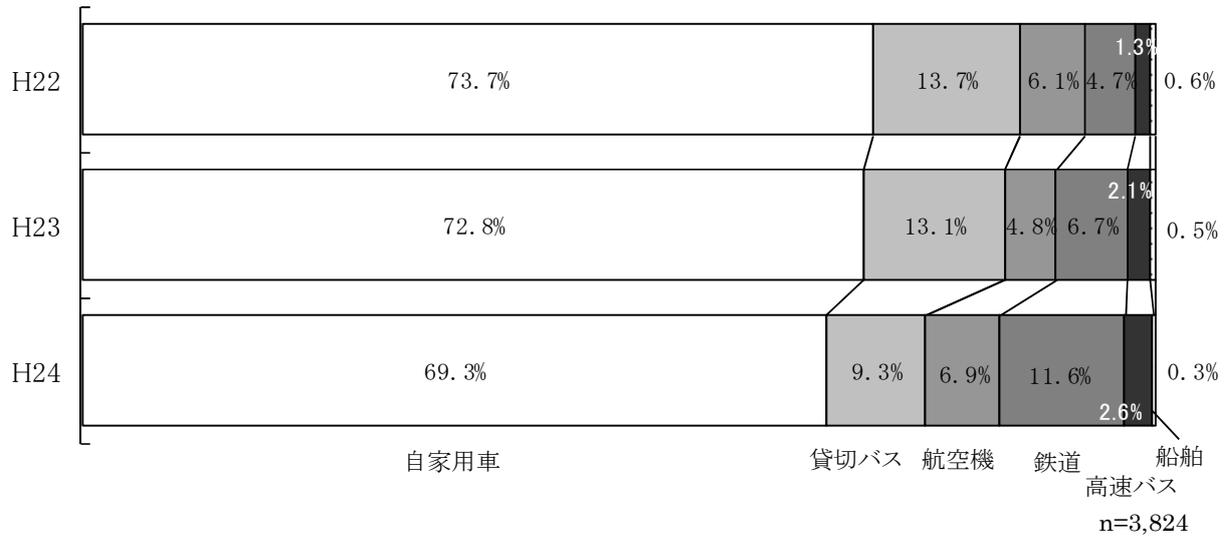
日帰りでは、「自家用車」が約9割(85.3%)を占めている。

宿泊では、「自家用車」が約5割(54.0%)、次いで「鉄道」(17.0%)、「航空機」(11.1%)と続く。



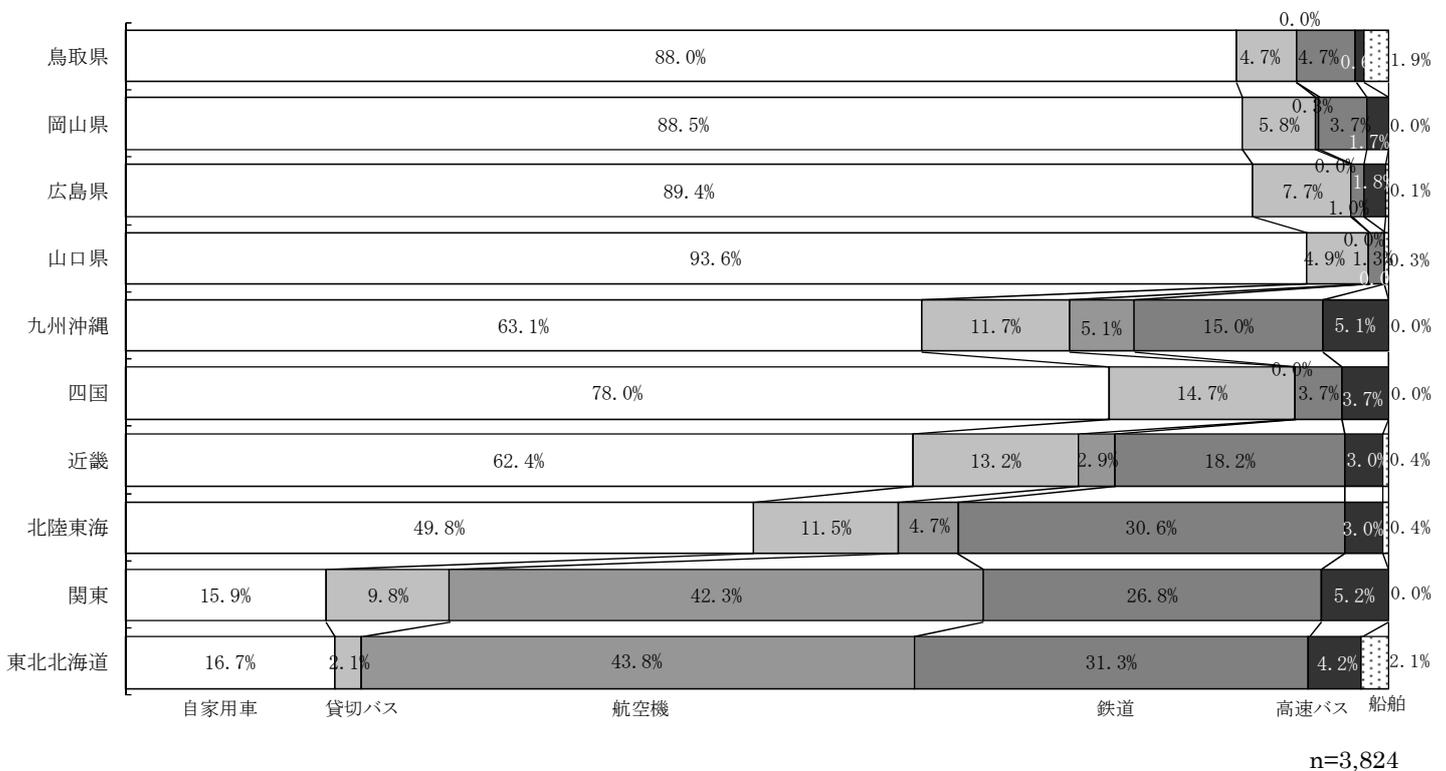
イ. 県外観光客入込み割合

県外客について利用交通機関別にみると、「自家用車」が最も多く全体の約 7 割 (69.3%) を占め、次いで「鉄道」、「貸切バス」、「航空機」の順となっている。山陰ディスティネーションキャンペーンの開催等により鉄道利用が増加した。



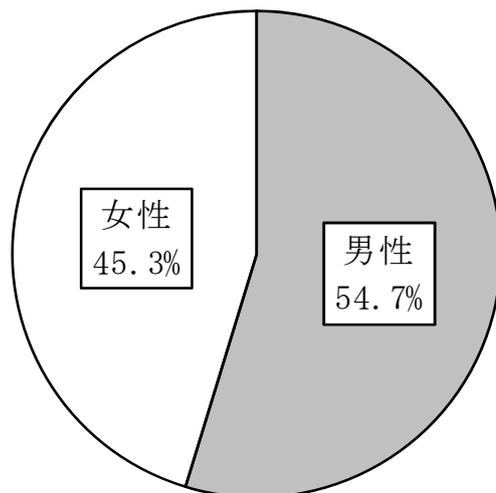
ウ. 地域別(県外)移動手段別割合

県外客について地域別にみると、中国、九州、四国、近畿では「自家用車」が 5 割以上を占め、関東、東北北海道では「航空機」が最も高くなっている。



(8) 性別

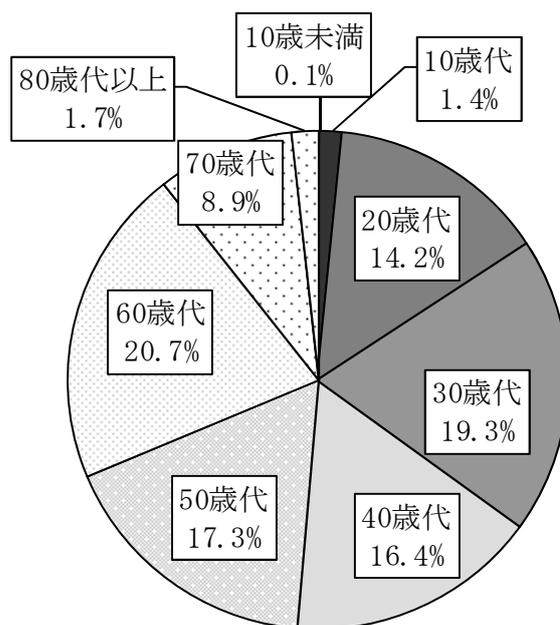
「男性」が約6割(54.7%)、「女性」が約4割(45.3%)を占めている。



n=5,500

(9) 年齢

30歳代から60歳代が約2割ずつを占めている。



n=5,500

(10) 満足度

日帰り宿泊ともに、「満足」と「ほぼ満足」を合すると8割以上であった。
一方、「やや不満」と「不満」を合すると全体の約2.0%であった。

